

主な質問と回答

【IPA デジタルシンポジウム 2021】分科会トラック C：
パネルディスカッション デジタル時代を生き抜く組織変革のヒント
～変革の阻害要因とその解決に向けて～
<https://www.ipa.go.jp/event/ipasympo2021.html>

2021 年 11 月 15 日公開

Q1. 情報アーキテクチャとデータアーキテクチャの違いは何でしょうか？
エンタープライズアーキテクチャとの関係も教えてください。
TOGA モデルでしょうか？スキル&マインドにシステム思考、ネゴシエーションを加えたらいかがでしょうか。トランフォーメーションには不可欠ではないでしょうか。

A1. データアーキテクチャは、エンタープライズ・アーキテクチャの構成要素の 1 つです。企業の経営戦略を実現するために、データの基本構造をどのようなモデルにするか、データ資産をいかに活用するかをデザインするための思想と構造を決定するための技術と言えます。

情報アーキテクチャは、人が物事を理解するために情報をわかりやすく伝える技術として、リチャード・ソール・ワーマン氏が生み出した考え方です。現在は、人間中心設計の中で紹介されたり、Web デザイン、プロダクトの UX デザインの中で活用されることが多い技術ですが、人と人のインタラクションが発生するところでは常に活用できる技術であり概念と言えると思います。
ちなみに、リチャード・ソール・ワーマンは、TED の生みの親でもあります。

情報アーキテクチャの起源を辿ると、リチャード・ソール・ワーマン氏が、著書『理解の秘密—マジカル・インストラクション』の中で提唱している「インストラクショナル・デザイン」という、理解を促す概念から、「理解をデザインする人」として、インフォメーション・アーキテクトという職業が考案されたことだと言われています。インフォメーション・アーキテクトが使う技術が情報設計（インフォメーション・アーキテクチャ）です。

現時点では、インフォメーション・アーキテクトの主な活動領域は、Web 設計や、プロダクトの UI、UX の設計の領域の様に見えています。Web デザインや UX デザインの活動において、そのサイトやプロダクトのコンセプトとデザインを繋ぐ構造を設計する際に活用されるのが情報アーキテクチャという技術です。ユーザーが情報を探しやすい、理解しやすい設計をすることが、情報アーキテクトの役割です。

実際は、プライベートもビジネスの場も、デジタルツール抜きでは活動できない現代社会において、コミュニケーションや情報のやりとりが発生するあらゆる領域で、人が情報を探したり、理解することを容易にするために情報の構造を設計する必要性があり、Web や UX のデザインなどに限らず、情報アーキテクチャの考え方は、もっと利用される必要のある技術だと考えています。例えば、企業内にあるファイルをどの様な構造で分類、整理するのかということも、情報アーキテクチャが活用できます。

エンタープライズアーキテクチャは、情報も含めた企業活動全体をモデリングすることで分析する手法ですので、情報アーキテクチャとは別物です。TOGAF とは関係ありませんが、TOGAF モデルで分析をされているなら、その中で情報アーキテクチャを設計することを織り込んでいくことは、もちろん可能です。スキル&マインドとして、システム思考の様な繋がりを考える力は、とても重要だと思います。